

Feng-Shui Gallery

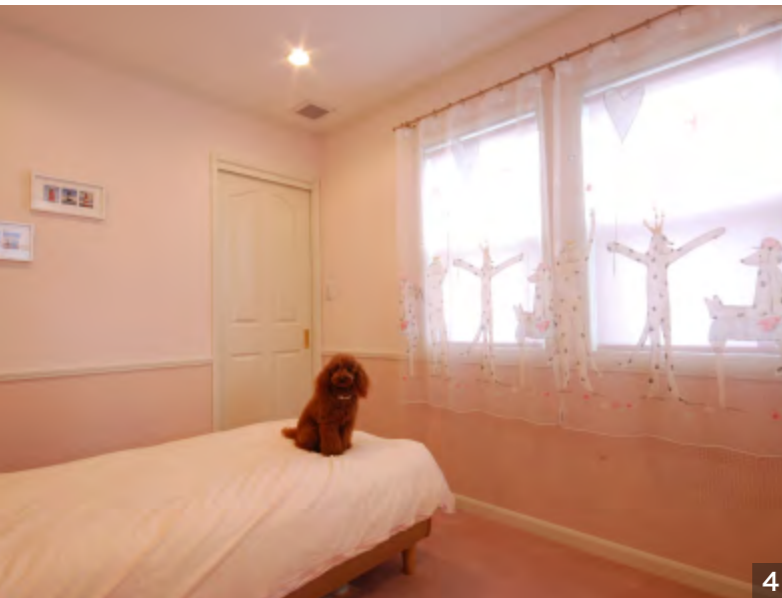
special edition vol.33

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

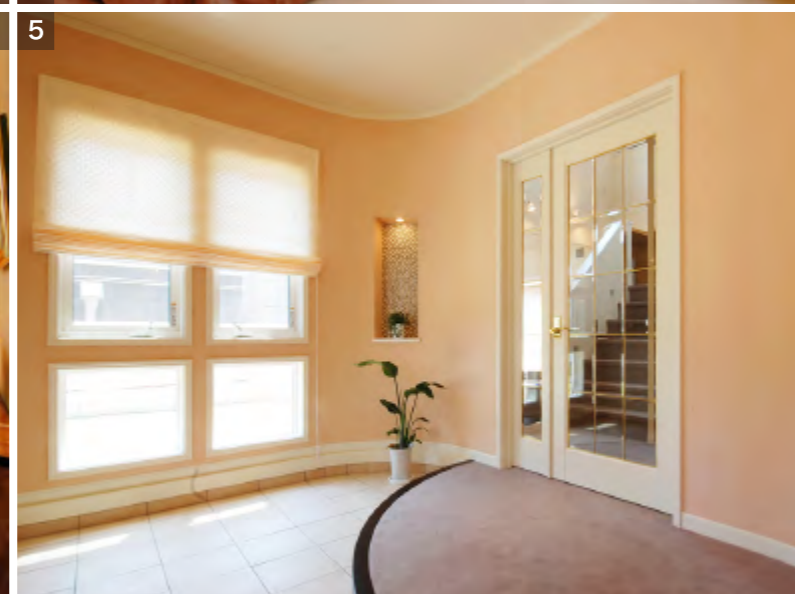
『カーテン・シェード』



【写真1】 勉強部屋や事務スペースにウッドブラインドを取り付けると、すっきりしたイメージのお部屋になり、集中力を高める手助けとなります。 **【写真2】** 落ち着いた色彩で構成された空間に、オレンジでコーディネートされた家具とカーテンがポイントとなっています。家具やクッションはファブリック仕上げのモノが多いので、カーテンと色味を合わせて空間のバランスを取るのに効果的です。 **【写真3】** シックで落ち着いたイメージの寝室に、光沢のあるカーテンを取り付けることで空間に高級感ができます。レースの花柄もお部屋のイメージに合わせたチョイスとなっています。 **【写真4】** ロールスクリーン上にレースカーテンを取り付けたパターン。レースカーテンには可愛い模様が入ったモノが多いので、その柄を生かしたデザインとなっています。 **【写真5】** 玄関では光を取り込みながら、外部からの視線を遮るシェードは効果的です。夜間も外の暗闇が目に入らず玄関の明るさが保たれます。 **【写真6】** デコラティブな空間にはドレープカーテンがピッタリです。どの部屋にもいえることですが、光沢のあるカーテン生地は高級感をもたせ、空間の質を高めることができます。



【大写真】 窓の大きさに合わせたシェードは、すっきりしたイメージを演出します。柔らかなレース生地から入る陽射しが温もりを感じさせます。



「光」「色彩」「質感」

カーテンによって空間のイメージは劇的に変化します。

床・壁・天井で使用される仕上げ材の「質感」や「色彩」、家具のデザインや配置のバランス、これらを組み合わせることで風水デザインの空間は構成されています。そこにプラスして、太陽や照明の「光」により、その空間がどのように照らされるかというのも、とても重要になってきます。

太陽の光を取り込む為に窓は欠かせません。その大きさや位置のバランスも大切です。

しかし、賃貸物件や建売の住宅に住む場合、窓の位置や大きさはどうにもできません。そこで、カーテンをどのようなものにするのがポイントとなってくるのです。

なぜならカーテンは、窓から入る「光」を調節し、その「色彩」や「質感」が空間に多大な影響を与えるからです。

壁紙や床材が良いもので仕上げ、どんなに素敵な家具を置いた空間も、カーテンひとつでバランスが崩れてしまうことは多々あります。逆に、壁や床材を変更できない家の場合でも、カーテンを工夫することで、その空間を居心地の良い、快適なものにすることが可能です。

使用する生地や形状によって、様々なイメージを演出することが可能なカーテンは、風水デザインにおいて、とても大切なアクセントとなっています。